

今月のコラム

2008母の日デリバリー レポート

園芸業界の皆さま、母の日お疲れさまでした。

この春の大きなイベントを無事過ごしたとホッとしつつ、来年はこうしよう、ここは改善しようと次年度に向けて走っていることと思います。

園芸業界では、一般的に母の日(第2日曜日)の週は「母の日ウィーク」と呼ばれており、お母さん宛の宅配用ギフトの注文が、全国からたくさん集荷されるわけです。まさにこの週から、出荷地(デリバリー梱包)の戦いが始まります。一日の数量を多く出すために、ラインの流れをいかにスムーズに流すかが課題になります。

右の写真は、商品チェック(植物の状態・梱包物・ダンボール等の副資材・宅配伝票・メッツメッセージカード等)や数量確認をしてラインを流している様子です。

限られた時間の出荷の中で、ラインをスムーズに流す工夫として、一切ガムテープを使わずに梱包できる宅配ダンボールにするとか・・・。出荷ラインもどの高さで商品を流すと速いかとか・・・。商品の仕分け作業が複雑になると、準備不足だと手に負えなくなり、事務処理の担当者のレベルに大きく左右されます。無事に商品が出荷されると、すぐに次に入ってきた注文に追われ、夜になっても作業は続きます。入荷する翌日分の商品チェックをして、翌日に流す手順が始まります。

このようにして、母の日ウィークは、時間との戦いの中オーダー対応を終了しますが、最近はカタログ・チラシでの事前注文が少なくなり、インターネット上での販売が増えています。母の日の3～4日前の間際の受注数が、極端に増える傾向にあり、より効率的な作業が求められます。

また、母の日に注文をするのを忘れた消費者が多く、ネット上では「遅れてごめんね 母の日」キャンペーンが、意外と注文が多く、毎回驚かされてしまいます。

さらに、母の日以降は「第2の母の日」と呼ばれ、クレームや商品転倒による再発送時期に当たるわけです。

今年の特徴としては、プリザーブドフラワーの注文が多く、鉢や切花は苦戦したと聞きます。また、植物&プラスワン商材が人気が高く、花鉢であれば蕾が多く観賞期間を長く楽しめるものよりも、やや満開気味のほうがクレーム率が少ない傾向にあるようです。

では、来年も素敵なお花をお届けできますように、全国のお母さんに乾杯！

高橋 乃(有)イーグルサム)



↑全国から集まった母の日の注文に追われる。時間との戦い「母の日ウィーク」



→スムーズにラインが流れるように作業台の高さにも工夫が。



↑インターネットでの間際の注文が殺到。人気のプリザーブドフラワーなどの注文も増えて、商品の仕分け作業は複雑に。



NEWS

J-WAVE GROW GREEN PROJECT グリーンカーテンなど5つのグリーンムーブメントを拡大！

関東の人気FM局、J-WAVE 81.3 FMが、壁面緑化などを呼びかける新たなプロジェクト「J-WAVE GROW GREEN PROJECT」をスタートさせた。「地球にやさしい、人にやさしい〜グリーンな気持ち〜」をテーマに、「グリーンカーテンを育ててみよう」など5つのアクションを実施していく取り組みで、リスナーのみならず、さまざまな企業、店舗に「緑のカーテンを広げよう！」と呼びかけたところ、「GROW GREEN」を合言葉にユニークなムーブメントとして広がりを見せている。

4月に「アディダス オリジナルスショップ 六本木ヒルズ」で行われたキックオフイベントには、J-WAVEナビゲーターのクリス智子さん、サッシャさん、王理恵さん、別所哲也さん、ロケットマン（ふかわりょう）などが総出演し、来場者全員にゴーヤ種の配布が行われた。プロジェクトでは今後も東京各地で3万袋のゴーヤの種を配布していく予定。



←キックオフイベントの様子

フラワーオークションジャパン MPS - GPA 認証取得

(株)フラワーオークションジャパン（池田正弘社長）は、4月14日付けでMPS - GPAの認証を取得、MPS財団のデグルート総裁が来日するのに合わせて5月20日、法政大学で認証式を行った。

同社では、生産者の間で進むMPS認証取得の支援を含め、自ら品質や環境を意識した流通業者になることを目指して、MPSの認証取得に取り組んできた。

MPSは花き産業総合認証プログラムで、オランダで生まれ、世界各地に普及した国際認証。花き生産者を対象としたMPS-Florimark Productionと、花き流通業者を対象としたMPS - Florimark Tradeの2つの認証プログラムで構成されていたが、最近、花き市場の卸売業者向けにMPS - Florimark Auctionが誕生した。MPS - GPAはMPS - Florimark Auctionの第1ステップで、ISO9001:2000を追加取得することでMPS - Florimark Auctionの認証が得られる。



会員紹介

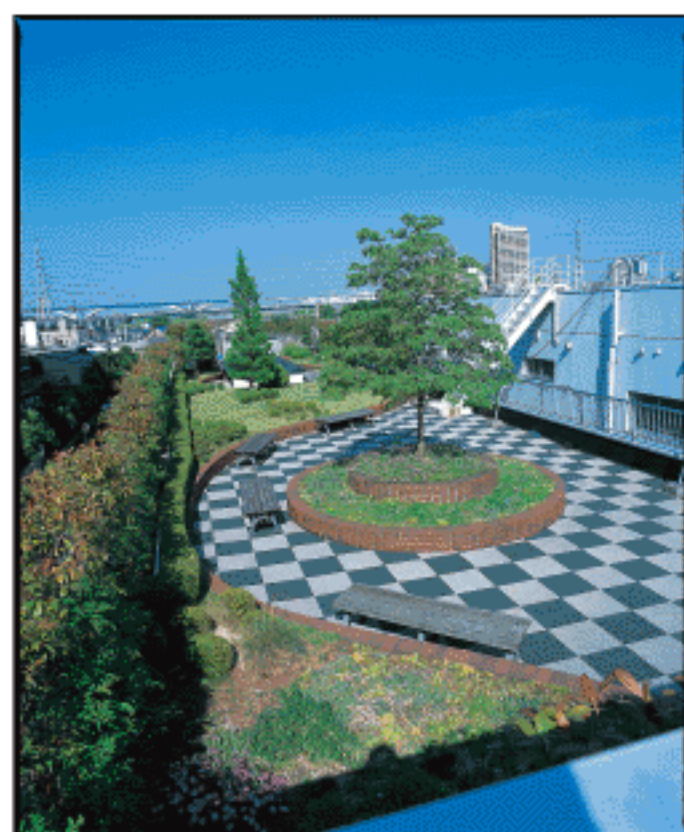
田島緑化株式会社



田島ルーフィンググループは緑のゆりなす豊かな空間を創造し、安心して楽しめる安全な屋上緑化をお届けいたします。

田島緑化株式会社は田島ルーフィング(株) 100%出資子会社として、同社の屋上防水にかかわる技術をフルに活用し、新築改修問わず、屋上緑化工事のプランニングから施工、施工後のメンテナンスまで請負う会社です。

当社は屋上緑化の注意点を熟知しており、長期に渡って安心・安全を確保できる屋上緑化をご提案しております。管理型緑化のGウェイブ、省管理型緑化（セダム緑化）のGウェイブ・エコム、そしてそれらの中間の草花緑化のFドーGCシステムなど、緑化の目的やメンテナンス頻度に合わせた屋上緑化をご提供いたします。



【事業内容】

1. 屋上緑化・造園工事の設計・施工、材料販売
2. ウッドデッキやアルミ製水切・笠木などの設計・施工
3. 屋上緑化改修工事にかかわるご提案、設計・施工
4. 屋上緑化工事完了後のメンテナンス業務

〒101-8579 東京都千代田区岩本町3丁目11番13号
TEL 03-5822-2501 FAX 03-3864-7630
E-mail: info@tajima-ryokka.jp
http://www.tajima-ryokka.jp/

屋上緑化のご相談は、
安心・安全の
田島緑化株式会社までどうぞ



● 「ホームセンターの園芸と種苗会社の仕掛け」 セミナー&名刺・情報交換会のご案内

今回のセミナーでは、ホームセンターと種苗会社の園芸カリスマに、これからのホームセンターの園芸について語っていただきます。今後の園芸を考える上で大いに役立つセミナーです。

◆日 時 2008年7月15日(火)

[テーマ1] 14:10~15:20 堤 勝智 氏

[テーマ2] 15:30~16:40 矢野信行 氏

[名刺・情報交換会] 16:50~18:30 (同会場内)

◆参加費 会員4,000円、一般5,000円 / 名刺・情報交換会(会費別途2,000円)

◆会 場 東京流通センター 第2会議室(東京都大田区平和島)

◆申込み方法 ガーデンを考える会ホームページまたは事務局までお問い合わせください。

テーマ1



年間を通じた野菜戦略

堤 勝智氏

カネコ種苗(株)
花き園芸部仕入企画課生産
グループ 課長代理

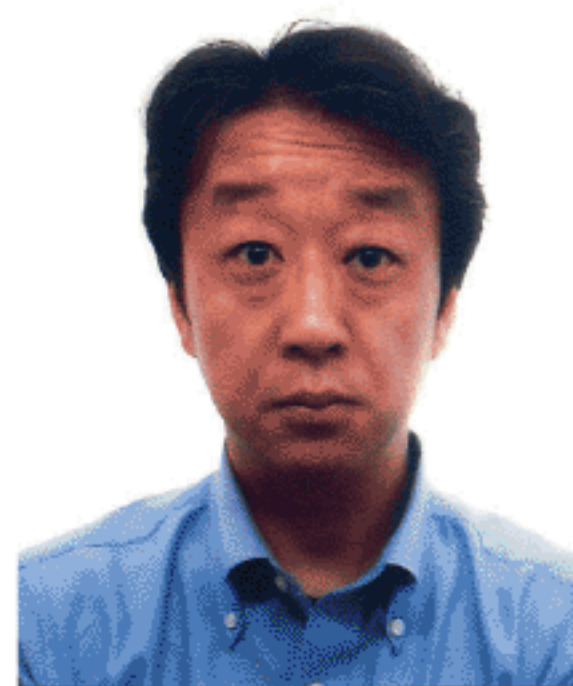
近年多くのメディアで注目される野菜づくり、その多くは4月、5月を中心にした果菜ですが、年間を通せばアナウンスになっていないだけで、まだまだその他の時期でも多くの品種が植え時を迎えています。

その中には、その地域・時期でなければ確実な収穫に至らないものも多く、そのような地域を考えたプランニングができなければなりません。

また、安心・安全が当たり前の世の中ですが、野菜苗ですからこれは最重要項目です。

こうしたことを考えた販売の提案をいたします。

テーマ2



まだまだ売れる、 こんな商品があれば・・・

矢野信行氏

トステムビバ(株)
園芸グループマネージャー

ホームセンターの商品部に在籍して早いもので20年、さまざまな流れ(ブーム)に直面してきました。そういう意味ではこの生活環境の厳しい現在も一つの流れだと言えます。

そんな今・・・

- ①現在の厳しい環境の中でお客様はどういう園芸に興味があるのか?
- ②どういう問題点を抱えているのか?(ガーデンソリューション)
- ③それを工夫している事例
- ④お客様はこんな商品を欲しがっているetc、
たくさんの写真事例を交えて説明していきます。「あー、こんなことだったんだ」とひとつでも感心してもらえる内容にしていきたいと思います。



出会い

府川公一（（社）日本ネパール協会監事）
※ガーデンを考える会個人会員

熱海市には、1968年にネパール国の故ビレンドラ元国王から贈られた種から、立派な大木に育っているヒマラヤザクラがある。

私がヒマラヤザクラと出会ったのは、2006年の日本とネパールの国交樹立50周年行事が行われ、桜博士の染郷正孝氏の教えを受けてからである。お花見で沸き立つ桜といえは春だが、11月にネパール生まれのヒマラヤザクラが咲いているのを見たときは感動した。

この年には、私も（社）日本ネパール協会の一員として、国内では九大キャンパス、国営讃岐まんのう公園、熱海市など、海外ではNGO「ラブ・グリーン・ネパール」の人たちと、現地のイベントやカトマンズ郊外の丘でヒマラヤザクラの植樹に取り組んだ。このほか、秋葉原で3日間の展示イベント、箱根ではネパールの花と山岳写真の展示を行った。

環境NGO元代表で、私がネパールとかかわるきっかけとなった故勝部先生の知人、岩手生まれのケンジ・ステファン・スズキさんとの出会いにより、彼が運営するデンマークの再生可能エネルギー政策が学べる研修施設「風のがっこう」で自然エネルギーの研修、風力発電、バイオガス、ごみの分別収集、発電等の教えを受けた。彼はデンマーク人として頻繁に来日して、各地で講演をこなしている。詳しくは「なぜ、デンマーク人は幸福な国をつくることに成功したのか どうして、日本では人が大切にされるシステムをつくれないのか」（合同出版社 2008年発行）などに書かれている。

数々の出会いは、自然と係わり合いのある仕事をしている私としては、教わることが大である。日本国内で生活している今、互いの立場を認め合うお付き合いが大切だろう。

最後に友人が関わっている「緑提灯」の店が1000店を越えたという。国内農水産物利用、エコに取り組み、エコな話題・・・「緑提灯」に集うのもいいものだ。



←「ネパール、パルーンの自然林のヒマラヤザクラ」
ネパール原産、染色体数16で日本の桜と同数、交雑やつぎ木実験でも高い親和性を示す。しかし花びらが散らない、タネが大きい、蜜が多い、枝が風にもろいなど日本の桜と異なる特性は、穏やかな風土を反映している。

事務局だより

ガーデンを考える会事務局

〒451-0045
名古屋市西区名駅2-25-10
ヤマエビル4F
TEL:052-571-7911
FAX:052-571-2208
E-mail:
npogarden@green-joho.jp
URL:
<http://www.npogarden.com>

昨年の総会で、来賓として環境省自然保護局の奥山さんの挨拶の中で「今年は一年かけて生物多様性国家戦略の見直しをしようということで作業をしている」と言っていました。

ちょうど一年後・・・先日ニュースで2010年に第10回生物多様性条約締約国会議（COP10）が名古屋市で開催されることが正式に決定したと報じられました。地球温暖化とならんで、生物多様性の保全についてますます大切な課題となっています。今年も6月10日の総会では、奥山さんに挨拶をしていただくことになっています。

※会員みなさま、総会出欠のご返信ありがとうございました。